資料６

社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

平成31年01月30日

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進（その２）（重点計画）（防災・安全）		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	茨木市		
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	2,643	A	2,643	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	下水道による都市浸水対策率を34.9%（H27）から39.1%（H31）に増加させる。【当初（1,552ha/4,444ha=34.9%）から（1,738ha/4,444ha=39.1%）】			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)【当初（1,552ha/4,444ha=34.9%）から（1,738ha/4,444ha=39.1%）】	35%	38%	39%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（合流）	新設	中央処理区合流管渠整備事業	L=2,380m φ250～900 開削・推進・実施設計	茨木市	■	■	■	■	■	727	－	－
		種別1は外にポンプ場を含む																	
	A07-002	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（雨水）	新設	中央処理区内排水区雨水管渠整備事業（H27～H28年度）	L=190m □3000×1700 ポンプ設置φ1200 一基 開削・推進・実施設計	茨木市	■	■				634	－	－
		種別1は外にポンプ場を含む																	
	A07-003	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（雨水）	新設	中央処理区内排水区雨水管渠整備事業（H31年度）	L=1,650m □2900×1350～□3000×1700 開削・推進	茨木市					■	300	－	－
		種別1は外にポンプ場を含む																	
	A07-004	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（雨水）	新設	高槻処理区内排水区雨水管渠整備事業	L=1,710m □1500×900、U=1000×950、φ400～1800 開削・推進・実施設計	茨木市	■	■	■	■	■	982	－	－
											小計						2,643		
											合計						2,643		

案件番号：

交付金の執行状況

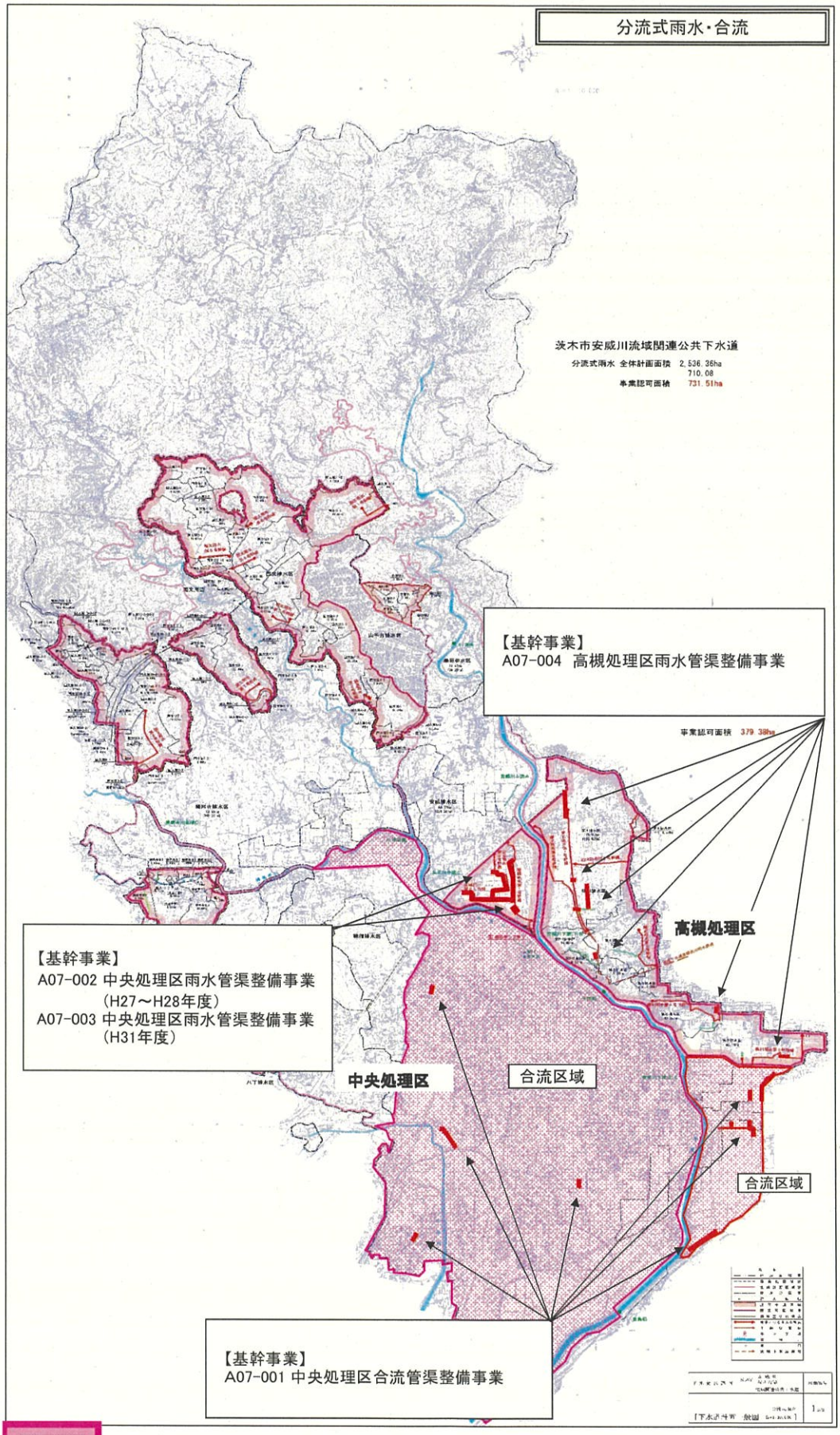
（単位：百万円）

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額（a)	200	7	380	161	118
計画別流用増△減額（b)	5	1	0	0	0
交付額（c=a+b)	205	8	380	161	118
前年度からの繰越額（d)	0	41	0	0	69
支払済額（e)	164	49	380	92	187
翌年度繰越額（f)	41	0	0	69	0
うち未契約繰越額(g)	41	0	0	0	0
不用額（h ＝ c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率（i ＝ (g+h)/(c+d)）%	20	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算により、年度内契約が困難であったため。	―	―	―	―

案件番号：

（参考様式）参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(重点計画)(防災・安全)		
計画の期間	平成27年度～平成31年度	交付対象	茨木市



下水道法による事業計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 茨木市における総合的な下水道整備の推進（その２）（重点計画）（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
Ⅰ．　目標の妥当性	
①上位計画・事業計画等との整合性　１）第５次茨木市総合計画等と整合性が確保されている。	○
Ⅰ．　目標の妥当性	
①上位計画・事業計画等との整合性　２）下水道法における事業計画等と整合性が確保されている。	○
Ⅰ．　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
Ⅱ．　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
Ⅱ．　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
Ⅱ．　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
Ⅱ．　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　４）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
Ⅱ．　計画の効果・効率性	
④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

案件番号：